



祝 社友会創立30周年記念特集

新年のご挨拶

社友会
大西光男
会長

社友会会員の皆さま、あけましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年5月、新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、行動制限が緩和され、5月27日には社友会総会・懇親会を開催し、50名の社友の方が参加し盛況のうちに終えることができました。

社友会活動も「たより38号」でご報告した新役員のフレッシュかつ精力的な行動力により、秋のハイキングを開催し、HPの月次更新や「たより39号」も計画通り発行することができ、ほぼコロナ前の日常に戻りました。皆様のご支援の賜物と感謝しております。

さて、旧年中、国内においては急激な円安や生活必需品の値上げ、また政治状況の不安定化、海外においては新たな戦争の勃発など激動の時代となりました。

しかし、目を転ずれば、WBCの優勝をはじめバスケットボール、バレーボールのオリンピック出場確定など数々のスポーツで、卯年（うさぎ年）にふさわしく、うさぎのように跳ねあがり素晴らしい結果を残しました。今年は辰年（たつ年）です。たつ年は万物が振動し、活力が旺盛になり大いに成長し、形が整う年だそうです。

そのような年に東亜石油社友会は11月22日に設立30年を迎えます。
設立以来、時代時代に「上り坂」ばかりでなく「下り坂」もあり、そして「まさか」も乗り越えてこられた諸先輩方のご苦労、ご尽力に感謝申し上げます。
昨年新役員を迎え、執行体制も若返りました。フレッシュなアイデアと活力ある行動力を得て、魅力ある社友会を目指し、更なる成長を形作っていきたいと思いますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。
本年度の社友会総会・懇親会も例年通りに開催され、皆様に再会できることを楽しみにしております。
皆様がお元気にお過ごしいただくよう祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

東亜石油社友会設立30周年を祝して

東亜石油社友会設立30周年、誠におめでとうございます。1994年11月に東亜石油に在籍した人達の「親睦交流」と「互恵互助」を目的に社友会が設立されましたが、30周年の節目を迎えるにあたり、社友会運営に様々な工夫と努力を重ねてこられた会員の皆様に、心から敬意を表します。また、東亜石油100周年記念誌編纂におきましても、社友会の皆様方から多大なご協力を頂き大変有難うございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

東亜石油
大嶋社長

東亜石油100年の歴史を振り返りましても、社友会の皆様は、まさしく東亜石油の発展と激動の時期を支えて頂いた方々です。古く遡れば製油所をこの川崎に建設し、各製造装置の増強やフレキシコーカー装置・FCC装置の建設と、高度成長期の旺盛な首都圏の石油需要を支えてきました。社友会設立後の30年間においても、電力自由化や特石法廃止、エネルギー供給構造高度化法等により、石油だけでなくエネルギー業界全体が大きな転換期を迎えましたが、電力供給事業への進出、水江・扇町工場の一体運営等の新たな挑戦をスタートし、超重質原油処理比率の拡大、製油所統合、さらには扇町工場閉鎖等を通じて、安全とコスト競争力を追求しました。これらの取り組みは、いずれも当時の環境変化への挑戦と言えるでしょう。

現在は、脱炭素社会への転換が待たないとなり、更に業界環境は激変し続けております。また、従来に無い資源高・原油高となり、今後が不透明な時代となっています。しかし、私達東亜社員は、過去の社友会の皆様の「永遠の挑戦者」の姿勢を継承し、環境変化に対応した新たな挑戦を続けます。

まずは、今年を次の100年に向けての変革の年と位置付け、経営基盤の基礎となる「安全・品質・環境」への取り組みを「新たなエネルギー」に対応し得るレベルを目指し盤石なものとします。どのような環境下でもエネルギーの安定供給に従業員一丸となって取り組む所存です。新たなエネルギーの社会実装のキーワードは、「つくる」「貯める」「運ぶ」「使う」と、それらの各分野の企業の連携と言われていますが、日本で最も「新たなエネルギー」への取り組みが進む川崎の地の利を活かし、この四つのキーワードの技術を磨き上げて、未来に挑戦し続けます。

社友会の皆様、設立30周年を迎え益々ご発展されることを心より祈念しております。今後ともご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



第四代会長
山崎英雄

創立30周年に寄せて

社友会設立30周年、誠におめでとうございます。
経営母体が変わって行く中で迎えられたことは感慨深いものがあります。
大西会長から30年の歴史を振り返り寄稿して欲しい旨、依頼を受け記憶力が薄れがちな近頃ですので、手持ちの資料を元に思い出しながら書いてみました。

私は社友会に平成10年に入会し、平成14年に元会長納富さんから工務部門の幹事を依頼されました。当時の社友会の活動は、総会・懇親会と年1回の「たより」の発行でしたが、より充実した内容を模索していた段階だったと思います。そこで始めたのがハイキングで、平成17年5月に開催、第1回は「古都鎌倉」でした。円覚寺門前で、地元浄明寺にお住まいの元取締役藤枝さんが杖をついて参加者18名をお出迎えして頂いた事は忘れられない思い出です。ハイキングは、久しぶりの再会でより親睦が図られた事からその後も継続されています。

平成20年11月に元会長大坂さんから会長を引き継ぐ事になり、諸先輩が築いてきた路線を崩さず進める事ができるか不安でしたが、当時の副会長である近藤さん、岸部さん、降矢さんのご支援と会員皆様のご協力で任務を勤められた事は感謝に耐えません。折しも、社友会は平成21年に独立した自主運営に切替えるという大きな変革を遂げました。

更に会社から社友会がより豊かな活動が出来る様に、売店業務の委託申し入れがありました。業務内容は仕入れ、販売管理や金銭管理、税務に至る一連の業務であり、経験の無い事ばかりでしたので役員、幹事会でいろいろ検討し、更に市の税務相談も受けた上で、定時総会に図り承認を得てから受託しました。

業務開始は平成22年4月構内売店は土日祝を除く毎日営業したので、近藤さん、岸部さん、小川(喜)さんと私が交代で勤務しました。定修工事の売店もありましたので後に、大西会長、山本(清)さんにも加わって頂きました。心配した税務申告は、会計監査の斉藤(照)さんが詳しく無事終えた事に安堵しました。勤務中の服装は社員と同じで現役に戻った気分ですが立場が違います。しかしながら現役の元同僚から励ましの声を掛けられた時は、やがて彼らも社友会に入会し第二の人生を送る事になるかと思ひ、その為には社友会が有意義に過ごせる体制を作らなければならないと痛感しました。売店業務は5年半続きその後の運営に役立つ成果はあったと思っています。

平成25年11月の総会で会長を副会長の近藤さんに受け継いで頂きました。近藤さんは永いこと事務局に携わり熟知された方で今日、会がスムーズに運営されているのも近藤さんのお陰と感謝しています。社友会は自主運営後、役員・幹事さんの頑張りでもホームページの開設や、いろいろ施策されている事は頼もしい限りです。最後になりましたが、東亜石油並びに社友会の益々の発展を祈念し私の思い出の記と致します。



定修工事臨時売店



第五代会長
近藤明人

創立30周年に寄せて

社友会が設立30周年を迎え心からお祝い申し上げます。
昭和17年に、日本重油と日米礦油の一部が合併して東亜石油が誕生、平成4年に創立50周年を迎えました。これを記念して『50年のあゆみ』を編纂し、「ヤマモモ」を製油所に植樹、記念品テレカとオレカを制作、社員の念願だった社友会設立が企画されました。

社友会設立はOB社員が共同石油、知多石油、東亜石油販売と複雑多岐に亘り、社友の範囲と会長の選任が決まらず設立総会は2年遅れの平成6年秋に開催されました。平成6年度東亜石油社友会役員は、会長二村行雄、副会長今井重春、同山田泰司、幹事朝比奈光、北村章雄、清水泰博、鈴木留次郎、高橋秀夫、宮内栄、森松士郎、山本米夫、八木正夫、会計監査武者義雄さんの方方で会員数は104名でした。平成11年まで事務局、平成15年には社友会幹事に選任され、以後平成28年総会まで24年間携わりました。この間平成15年には社友会事務所が設置され、会報『たより』を発刊し誌名を納富敏郎2代会長から揮毫を頂き、年間予定を決め、誌面の増頁カラー化、ハイキングの実施、宿泊の幹事会等が思い出します。

山本裕社長から戴いた構内売店業務の受託は、その後の社友会運営を大変強固に致しました。日計精算、商品発注、在庫管理、月次決算を行い、定期修理期間中は、工事ハウス売店と通常売店の2ヶ所の業務を、山崎英雄第4代会長、岸部武彦副会長、小川喜重さんと従事したことが回顧されます。

設立30周年を迎え、設立並びに社友会運営に多大なご尽力、ご支援を戴いた八巻昭八社長、浅見昭夫常務取締役、納富敏郎取締役(2代会長)、守屋充男社長、山本裕社長並びに二村行雄初代会長、大坂真也3代会長、会計監査の斎藤照男さん、百瀬二三男さん、ハイキングで活躍頂いた降矢勝夫さん、若林俊作さん、鬼籍にいらっしゃる会員の皆様に心からお礼申し上げます。

東亜石油社友会の益々の隆盛を祈念申し上げ祝辞とします。



臨時売店内の様子

祝30周年に寄せる五行歌

この30年は順風や凧は少なく、暴風雨に晒された航海であったとの印象が強いです。良き仲間の皆さんと、この難局を乗り越え今あることに深い感慨が湧いてきます。



元副会長
山本清徳

① 祝30年
会社の存続
社友の踊り
幹事の演出
あればこそ

② 先輩の基盤に乗り
リストラの名の
大変革
社会・会社・家族
人も七転八倒

③ 仙厓『堪忍柳画讃』
「氣にいらぬ
風もあるうに
柳かな」
肝に銘じ歩む

④ 幹事15年
執行部4年
後継者への
バトンタッチは
果たせたか？

⑤ 会員も高齢化
世話人も高齢化
老々の相互支援は
社会の縮図
やるしかない

⑥ 離合集散の
多様性集団
ダイバーシティの
豊かな果実を
咲かせよう

⑦ 白居易『長恨歌』
「在天願作比翼鳥
在地願為連理枝」
が身に染みる
今日を生きる



仙厓「堪忍柳画讃」

③ 吹きつける風の中には耐え難い風もあるだろうが、柳はいずれの風も
さらりと受け流してやり過ごす

⑦ 「地の枝」は現役時代、「天の鳥」は退職後時代、をイメージしました。
縁あつての仲間として「連理」や「比翼」のようでありたいとの思いです。

■五行歌(ごぎょうか)とは：

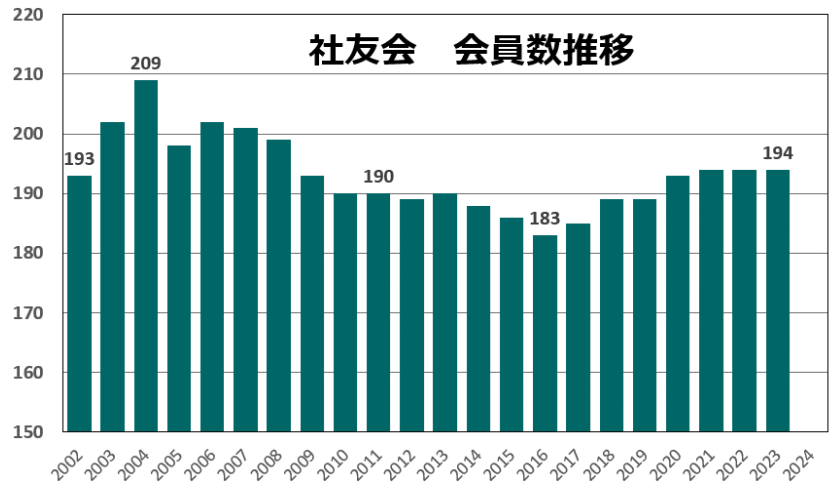
短歌のように57577音の制約がなく、題名をつけなくて五行で自由に書く詩歌である。

社友会30年のあゆみ



- 1992年 東亜石油が創立50周年を迎えたのを機に、東亜石油に在籍した人達の「親睦交流」と「互惠互助」を目的に社友会設立を計画する
- 1994年 11月22日ニューハトヤで設立総会を開催し「東亜石油社友会」が正式に発足（会員104名）
- 2002年 社友会事務所設置、社友会住所録の発行と会則を制定する
- 2003年 会報「たより」創刊号発刊（白黒印刷 年1回発刊でスタート）
- 2004年 社友会活動の財源として年会費徴収を開始したが、15名が退会する
- 2005年 会報を年2回発刊に増刊、社友会ハイキング開始（第1回は古都鎌倉）
- 2010年 構内売店業務受託開始、定修工事臨時売店開設（2015年10月撤退）
- 2014年 社友会創立20周年
- 2017年 社友会ホームページ（HP）開設【GMO社】
- 2018年 会則改訂（入会金1万円年会費千円から、入会金2万円年会費無しに変更）
電話 Faxによる緊急連絡網を廃止し、社友会ホームページ（HP）とメール活用に変更する
- 2020年 「定時総会」コロナ感染拡大により中止
Web(ZOOM)会議導入し幹事会やHP編集会議で使用開始、社友会ホームページ(HP)更新【Wix.com】
- 2021年 「定時総会」ますます加速するコロナ感染拡大により中止（2年連続中止）
- 2022年 「定時総会」3年ぶりに開催 同日京浜製油所新総合事務所と構内バス見学を実施した
- 2024年 社友会創立30周年

2020年HP更新



2005年からハイキング開始

450名以上の会員がこんな場所を歩きました

- 1 鎌倉(18) 2 浜離宮(17) 3 横浜(19) 4 柴又(18) 5 鎌倉(20) 6 谷根千アメ横(19) 7 横須賀(22) 8 皇居(11)
 9 江の島 (18) 10 両国 (14) 11 横浜金沢 (15) 12 浅草スカイツリー (11) 13 江ノ電 (8) 14 大船観音(7)
 15 築地隅田川浅草スカイツリー(11) 16 お台場レインボーブリッジ(11) 17 芝離宮芝増上寺東京タワー(9)
 18日本民家園岡本太郎美術館(8) 19 新宿明治神宮NHK(11) 20 小田原二宮尊徳(14) 21 銀座築地月島(13)
 22 小江戸川越時の鐘(16) 23 横浜根岸森林公園山手(22) 24 三浦半島観音崎灯台(14) 25 目黒川桜見物(8)
 26 横須賀軍港塚山公園(18) 27 御岳山天狗岩(10) 28 秦野弘法山鶴巻温泉(21) 29 二宮吾妻山湘南平(18)
 30 鎌倉アルプス縦走(13) 31 大月百蔵山(7) 32 横須賀田浦梅の里(13) 33 三浦半島河津桜・城ヶ島灯台(9)
 34 陣馬山(12) 35 東京王子飛鳥山公園(11) 36 山北洒水の滝(11) ()内は参加人数



特別行事 秋を探して

飛鳥山公園～旧古河庭園～六義園 散策

穏やかな秋晴れに恵まれた11月25日(土) 喜寿をもうすぐ迎える大西会長以下全11名が参加して秋のハイキングが実施されました。

飛鳥山公園内の渋沢史料館・晩香廬・青淵文庫で渋沢栄一の偉業を学び知った後、バラの洋風庭園と紅葉の日本庭園を観賞し、最後に駒込の町中華で盛り上がる楽しい一日になりました。

飛鳥山公園

ここは2024年度に発行される新一万円札の「顔」になる日本の近代経済社会の礎を築くため多くの会社設立や社会公共事業を手掛けた渋沢栄一の邸宅があったところで、栄一ゆかりの晩香廬、青淵文庫や渋沢史料館などが見学できます。



渋沢資料館



渋沢資料館にて



皆さん熱心に鑑賞です



ばんこうろ
晩香廬にて



栄一の椅子に座りご満悦

晩香廬は渋沢邸を訪れた
賓客をもてなすために利用
された洋風の茶室です



旧古河庭園

ここは明治の元勳・陸奥宗光の邸宅跡で、旧財閥古河家が造った大正初期の庭園の原型を留める貴重な存在として国の名勝に指定され都が管理しています。



ちょうどこの時期は、紅葉とバラの見頃が重なって、
贅沢なひとときです。

園内では79種類のバラが見頃になっていました。

旧古河庭園にて 全員集合



3つの公園の散策が終わって、駒込駅前の中華屋さんでお楽しみの反省会です。貸し切り状態で盛り上がり、無事解散となりました。
(M・K記)

大坂眞也 社友会第三代会長逝去のお知らせ

東亜石油社友会第三代会長 大坂眞也さんが令和5年10月5日、84歳で逝去されました。

ここに、御生前のご厚誼に深く感謝するとともに、ご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

大坂さんは、会長就任挨拶の中で「会長は名誉職でなく、世話役である幹事の取りまとめ役と考えやってみます」と述べ、社友会草創期である平成16年11月から平成20年11月までの5年間に渡り、会員連絡網作成、入会資格制限の撤廃、新行事としてハイキングの実施など、様々な課題に積極的に取り組んでいただきました。

【付記】大坂さんは会長を退かれたのち、大病と闘いながら自宅「妙泉寺」で住職されている時、たより30号に「法話」を紹介してくださいました。社友の皆さま、今、読み返してみられると新たな理解と感情が湧いてくるかもしれません。

会員の投稿記事

我が家のペットは今年8歳になるメスの柴犬です
名前は「ヒメ」と言います



ヘソ天している ヒメ

「我が家のペット自慢」

諫早昭三さん



窓辺の ヒメ

実は先代のペット（母が他界したときに引き継いで飼っていたものです）が死んだ時、予想もしなかったペットロスに襲われて堪らず飼いはじめました。柴犬はご承知の通り犬界のネコとよばれるほど勝手気ままな性格で、散歩に行こうとしても気分が乗らなければそっぽを向いてしまいがちですが、野生に最も近い犬種とも言われるようにネズミなどの小動物の気配がすると、俄然スイッチが入り猟犬の本性むき出しに凄い勢いで追い掛け回し、我が家のヒメもこれまでに三匹のネズミを捕まえる戦果を誇っています。

東南の隅にある出窓がお気に入りの場所で、日頃はそこでごろごろしていますが、出窓が表の通りに面しているので外から丸見えで近所でも有名になってしまい、散歩しているとあの出窓のワンコね！とよく声をかけられ地域猫ならぬ地域犬となっています。我が家の元気の源であるヒメなのでいつまでも元気でいてほしいと思っています。しかしながら、限りある命いつかは別れなければならないのですが、先のことはあまり考えないことにしています。

【編集委員より】 ペットを飼っている人は誰しも我が家のペットが最高だ！

と思っておられるのではないのでしょうか。是非ペット自慢の投稿をお願いいたします。

伝言板

TOA

2024年は東亜石油創業100周年

東亜石油は、1924年（大正13年）「日本重油株式会社」として設立し重油の輸入販売を開始してから2024年で操業100年を迎えます。



東亜石油では操業100周年記念誌編集を企画し、「100年委員会」を発足して、作業を進めています。

記念誌作成にあたり、東亜石油発展の歴史の中で、その時代時代における新設備建設、稼働等に伴う実体験や苦労話などのエピソードをコラム形式で掲載するというので、昨年(2023年)9月「100年委員会」を構成する若手社員と社友会選出のOB（阿部保、斎藤肇、大西光男、山本裕）との座談会を開き話し合いを行いました。

会員の移動

新会員

松本 安尋 さん 令和5年 7月 (神奈川県横須賀市 在住)
田中 哲也 さん 令和5年 11月 (神奈川県茅ヶ崎市 在住)

お悔やみ申し上げます

松木 宏郎 さん 令和5年 9月 2日 (83歳)
大坂 真也 さん 令和5年 10月 5日 (84歳)

(令和5年12月1日現在 会員数 194名)

2024年 長寿の祝い

米寿 (1936年誕生)

大川 正宏 さん (1月20日)
澤藤 宗造 さん (7月8日)、原田 修 さん (9月1日)

喜寿 (1947年誕生)

大西 光男 さん (1月3日)
橋本 貞雄 さん (4月25日)、丸山 武 さん (6月5日)
上坂 賢治 さん (7月15日)、小黒 武夫 さん (8月8日)、金子 稔 さん (9月15日)
鈴木 康夫 さん (10月8日)、高野 栄三郎 さん (10月27日)
加藤 稔 さん (11月22日)、伊藤 重雄 さん (12月9日)

以上、対象の方には四半期ごとに記念品を贈呈致します。

■ 事務局からの連絡：2023年10月幹事会メンバーの役割分担を変更しました。

委員		担当者	業務
事務局委員		大西会長,前田副会長,牧之田副会長,石井副会長,田尻相談役,林,中村,佐藤	年間業務計画作成,入退会管理,会報定期発行,会員名簿管理
広報	HP編集委員	石井(リーダー),林,牧之田,古森,淡嶋	HP更新編集,登録会員の管理
	会報編集委員	淡嶋(リーダー),古森,諫早,齋藤,林,石井	会報「たより」の編集
行事委員		中村(リーダー),熊坂 (会員選抜)込山,胸元,松本	総会・懇親会その他ハイキング等 行事の企画運営

時期	行事	開催場所	開催時間・その他
3月23日(土)	春のハイキング	大岡川沿い 花見散策	10時 京急線 弘明寺駅前集合
5月25日(土)	2023年度 総会・懇親会	川崎日航ホテル	13時～15時 会費 7,000円
7月20日(土)	みんなで元気に! 暑気払い	川崎 ビアガーデン	18時～20時 会費 5,000円前後
11月9日(土)	秋のハイキング	生田緑地(民家園・岡本太郎 美術館・榊形山展望台)	10時 小田急線 向ヶ丘遊園駅集合

- 行事の内容変更、中止、臨時開催等日程や内容が変更になる場合があります。
その際は、早急に「社友会ホームページ」でお知らせしますのでご覧ください。

春のハイキングのご案内

大岡川沿い花見散策

春空の中、桜並木を散策してゆっくり時間を過ごそう

- 開催日 **2024年3月23日(土)** **雨天中止**
- 集合場所と時間 京急線 弘明寺駅前 10時集合
- コース
大岡川沿いを花見散策しながら、みなとみらい/桜木町駅方面まで
- 費用 交通費および食事・飲食代は各自負担
- 応募方法 2024年2月中旬、会長から会員宛てメールで実施案内の予定です。
参加希望者は、このメール(mitsuoyokosuka@ybb.ne.jp)で参加意思を返信連絡して下さい。
- 募集の締め切り 3月16日(土) 厳守**
- 本件問合せ先 行事委員(中村睦夫、熊坂真紀)



川崎駅から通勤バスに乗り産業道路を越えると車窓から見える水江フレイアースタックの炎が気になったのは私だけだろうか。定期修理工事中に工事監督と一緒に毎日フレイアースタックに登った時は高くなるにつれて足元のグレイチングの隙間から広がる海の景色が眼に入りラダーを握る手に思わず力が入っていたことを思い出す。

今回初めて編集を担当した「たより」39号は、見やすく、できるだけ多くの情報を発信することを心掛けました。社友会は平成17年からハイキングを始めましたが、四年後からは東亜石油グループ現役の若者を中心として活動している「ウォーキング有志の会」が企画する行事にも参加した結果、昨年までに36か所、四百五十名以上の会員の参加を得ています。

冒頭で書いたようにスタックは装置運転に欠かせない設備ですが、スタックには「煙突」の意味の他に熱交換器を重ねて設置したものを「スタッキング」というように積み重ねるという意味もあります。

新幹事も選出され新しい年を迎えますが、これからも皆様を知って欲しい情報、共有したい情報などの声を聴きながら様々な企画を取り入れて一年一年活動を積み重ねたい40周年を迎えたいと思いますのでご協力願います。(H・A)

